

令和4年 第12回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和4年12月23日（金曜日）午後13時開会／午後13時30分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 島谷千春

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子、新滝有紀子

会議列席者 堀川事務局長、宮永事務局長、平塚次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、梶谷教育庶務課企画官、中蔵教育庶務課リーダー

令和4年第12回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○島谷教育長 お足元の悪いなか、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。今日は市内の小中学校の終業式で、明日から冬休みに入ることと、最終日がこのような天気になってしまいましたが、子ども達はもう帰っている時間かなと思います。

本日は報告案件4件のみとなっております。よろしくお願ひいたします。

まず報告第52号、令和4年12月加賀市議会定例会の答弁について小茂出課長お願ひいたします。

- 報告第52号 令和4年12月加賀市議会定例会の答弁について
小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 私も議会で今回初めて答弁をさせていただきまして、今後、どういう学校教育の方向性を目指すのかということと、いろいろと問われまして、少し長くなりましたが、丁寧に答弁をさせていただきました。年明けに学校教育ビジョンというかたちで公表をさせていただきたいと思っております。今まさにいろいろと詰めて協議をしている段階です。また予算編成過程も同時並行で作業している状況なので、そのあたりもいろいろと公表できればと思っております。

この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 まず南出議員の学校教育ビジョンの答弁の中で、「子どもの支援だけでなく、保護者支援も大変重要である」とあるんですが、現状として保護者支援ということに対してどこまでの支援ができていますのか。どんな支援ができていますのか。その辺今後どんな支援が望ましいのかというふうな方向性がもしあれば、また現状がわかれば教えていただきたいのが1点です。

次に若林議員のフリースクールの件で、前にもお伺いしている件ですけれども、黒崎小学校の答弁の一番最後に「法令上の学校でなくとも、子どもの育ちにとって大変重要なことである」とあります。在籍の児童生徒へ義務教育課程にある年齢という観点からの働き方をするのは、各担当の校長なのか、それとも市や教育委員会が直接指導にあたるのかということもお聞きし

たいと思います。

○島谷教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 保護者支援についてですが、もちろん学校が中心となって担任と連携をとりながら、悩み事、困り事があれば担任が窓口になって学校の方で対応していくというのが基本になってくるとは思いますけれども、例えば発達に関する悩み事、困り事等がある場合には、現在各学校に配置されているスクールカウンセラーを活用して、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けるといことも、保護者に対して仲介をしております。近年特にスクールカウンセラーへの相談件数が増えておりますので、そういったスクールカウンセラーとのつなぎ、スクールカウンセラーによる保護者支援もごさいます。それから錦城特別支援学校とも連携して、専門相談員の方に来ていただいて、子どもの様子を見ていただき、そのあと保護者の方も同席してその観察の結果、あるいはリスク等の発達検査の結果を保護者の方にお知らせして、より良い子ども達の支援について、学校ではこういうふうにしていきます、家庭でもこういうことができますという、そういった保護者支援等も行なっております。それから次の報告案件になりますが、教育総合支援センターの機能の強化拡充ということで、センターの方でも不登校等のお子さんへの支援という子ども達への支援はもとより、保護者の方々との懇談、面談、そして相談についても、さらに相談しやすい体制、システム作りということも考えておりますので、そういったいろいろな方々、外部機関との連携も図りながら保護者の支援を行なっていきたいと考えております。

○島谷教育長 私からも答弁で申し上げたのは、不登校になったときに保護者としてやはりまったく想定をしていないので、特に中学校は進路をどうするんだとか、このままずっとひきこもりだったらどうするんだとか、誰かに言いたいけどどこに相談していいかわからないという状況が、不登校の家庭は本当に色濃く出ておりますので、そのあたり子どもの支援だけではなくて、保護者支援もしっかりとやっていくべきというところで、具体の方向性は今後の議論ですけれども、そういう思いもありまして答弁をさせていただきました。

あと黒崎小学校の在籍児童生徒への働きかけということで宮永次長お願いします。

○宮永次長 働きかけは基本的にはそれぞれ在籍している学校の校長先生が状況を確認しに行っていますし、教育委員会も施設を貸し出している立場としても、どういう使い方をしているのかということと、やはり子ども達の居場所としてどういうふうな提供の仕方をしているのかというところは確認はしております。あとは学校からお便りを渡したりということもやっていますし、学校の範疇の中でやっていただいているという認識です。

○平塚次長 出欠に関しては基本的には校長の判断で学校ごとにとということになるんですが、条件がどの学校の児童生徒についても同じですので、各校長が月に1回程度てくてくさんの方に行ってお子さんの状況を確認しておりますし、てくてくさんの方からは各学校に対して、その月のてくてくへの出欠状況を必ず学校長の方に報告していただいております。それからてくてくでの活動の様子等についても学校の方へ知らせていただいております。そのあたり出席について今後どういうふうにしていくのかという部分については、各学校長と学校指導課と連携しながら働きかけも含めて検討を重ね、協議しながら対応していきたいと思ひます。

○山下委員 義務教育は3大義務のひとつで教育の義務ですので、これを受ける権利、受けさせる権利もあると思ひます。その辺をしっかりと指導をしていきながら、本当に不登校の児童

生徒さん達もいらっしゃると思いますし、それを希望して来られる方もいらっしゃると思います。その辺の線引きも難しいかと思いますが、保護者との話も進めて、やはり学校に行っていただく、もしくは学校に準ずることをしていただくことが望ましいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第53号、不登校児童生徒の教育施策に関する包括連携協定の締結について平塚次長お願いいたします。

- 報告第53号 不登校児童生徒の教育施策に関する包括連携協定の締結について
平塚次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 カタリバさんとの連携をなさるといことで、これは大変素晴らしいことだと思います。12月11日付けの新聞を読んでいたら、カタリバさんがメタバースのところで部屋を作って、家から外に出られない子ども達に対してそこへ行って勉強したり、自分で学習したりする実践が大きく取り上げられていました。これは良いことだなと思っておりますので、せっかくカタリバさんと連携して、メタバースもこの間から始めたといことで、私も15日にメタバースの公開授業に参加して見せていただいたので、こういうことが具体的ににならないのかなと。ぜひ今後の活動の中でどうなるのか教えていただけたらと思います。

○島谷教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 カタリバさんとの連携については、今も協議を進めておりまして、現在のところ3つの重点施策といことで連携の方を協議しています。一つ目は不登校を未然に防ぐ取組みを強化するといことです。二つ目は誰にとっても魅力的で地域に開かれた新しい教育総合支援センターを作るといことです。三つ目はこの教育総合支援センターをハブにしながら学校、家庭、行政、外部リソースと連携する仕組みを作るといことであります。篠原委員のご指摘にあった不登校の子ども達に対する支援のひとつの方法として、メタバース空間を通じて自分のアバターでそこに入って、そのメタバースの空間にいる専門相談員の先生方と交流して、今なかなか家から出ることができずにひきこもっている子ども達に対して、まず外に出るきっかけとしてメタバース空間を活用した不登校支援、カタリバさんのそのシステムを活用させていただいて、加賀市でもそこに参加させていただけないかといことは、今具体的に話を進めているところですので、また年明けにも協議を始めていきます。具体的には今後のこととなりますが、カタリバさんの不登校支援のメタバースの利用についても今協議をはじめているところでもあります。

○篠原委員 いわゆる不登校になっているお子さんが楽しく学べるような空間をぜひ作っていただけないかと思います。今、教育総合支援センターが三木小学校の方に移転するといことが議会でも取り上げられていますけれども、その空間では学校というイメージではなくて、できるだけアットホームで子ども達がそこにて楽しい空間を作っていただけないかと思えます。それから三木地区といのは地域の協力が大変高い地域でありますので、ぜひ地域の方の人材も活用していただきながら、地域の方と一緒に交流できるような活動、取組みな

んかも今後していただけないかなと切に思っています。今回の支援センターの移転をきっかけに新たな加賀市での取組み、教育長さんも不登校に対して1丁目1番地みたいなことを議会答弁でもおっしゃっていましたので、そういうことも踏まえて、ひとつのモデルとなるような、全国にも面白いことをやっているなど、加賀市に1回行って見てこようというくらいの施設になるような思いで、ぜひこれに取り組んでいただければ、加賀市は不登校のお子さんにも優しい、すべてのお子さんに優しいアットホームな良い地域なんだなということで、これから大きく考えてみると、移住者定住者も増えてくることもあるかもしれないので、これが今加賀市の喫緊の課題となっている人口減少問題にも波及してくるんじゃないかなとも考えられます。ただ施設が移るというだけでなく、ぜひこれをチャンスとして捉えていただいて、全国の方でも加賀市のメタバース空間に入れるとか、加賀市の子ども達だけでなくもいいので、いろんなお子さん達に全国的に広げて、温泉もあるし、そういった不登校の施設も充実しているし、いろんなことで移住者が増えるというようなことが今全国的にもありますので、そういったことも考えて取り組んでいただけたら大変嬉しく思っております。よろしく願いいたします。これは意見です。

○**島谷教育長** 今篠原委員がおっしゃった通り、やはり地域の方と一緒にこのセンターを作り上げていくということは、すごく大事にしたいと思っております、私も含めて事務局で三木地区の会合にも出させていただいて、こういうことでやっていきたいということを説明しました。その辺りは本当にこまめにいろいろとご協力を得られるように、しっかりと保護者と地区の皆さんに説明をして、みんなで子ども達を育てるといような空間にできればなというふうに思っております。

他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第54号、数理女子ワークショップの開催結果について上出課長お願いいたします。

- 報告第54号 数理女子ワークショップの開催結果について
上出課長 資料に基づき説明

○**島谷教育長** この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第55号、TEEN SUMMIT KAGA 2023の開催について上出課長お願いいたします。

- 報告第55号 TEEN SUMMIT KAGA 2023の開催について
上出課長 資料に基づき説明

○**島谷教育長** この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

この前STEAMの発表会もありましたけれども、最先端のテクノロジーに触れる機会というところで、子どもの発想とか想像力を伸ばすひとつの大きな企画かなと思っておりますので、一人でも多く参加していただければなと思っております。

では予定していた案件は以上になりますが、その他皆さまから何かございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について
小茂出課長 説明

○島谷教育長 それでは1月11日水曜日、9時半からということで予定に入れておいてください。

それでは以上で第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。